

戦犯容疑者の逮捕、起訴、裁判、服役、釈放の一次資料とは何であろうか。戦地において戦争犯罪といわれる行為があった時点の記録は、敗戦の際にほぼ焼却してしまっている。容疑者に対する取調調書、起訴状等の資料、法廷におけるやりとりの速記録、判決文等は、裁判の主催国である連合国側が保存しているはずのもので、日本側には容疑者を支援できた一部の裁判に関する記録が残っているにすぎない。裁判から切り離された日本政府は、復員省（局）を中心に裁判に関する情報の収集につとめたが、結局、情報源は、被告のための証人になつたり弁護資料を作成した復員兵、法廷に派遣された弁護人・通訳・教説師の報告、占領軍から聞き出した不確実な消息の類などに限られた。

戦犯裁判の中で、裁判の当事者になれない日本政府が、復員兵や弁護人・通訳等から聞き取ったこうした記録を一次資料として扱うことに対して疑問がないわけではない。それでもこうした記録を収集する一方、復員省から、その事務を引き継いだ厚生省引揚援護局に至るまでの目まぐるしい変遷の中で、当然、各種の文書が作成されたことは、付言をまたない。しかし、どのような記録が作成されたのか、どこで保存されたか、今日までに残っているのは何か、散逸したものは何か等々、いまだにわからないことが多い。

特色

■第1・2巻は新発掘資料／陸軍関係戦犯者の出身地・裁判地・罪名・判決・服役地・釈放・家族の情報を都道府県別に網羅した唯一の資料 ■第3～6巻は連合国各戦犯裁判の問題・実態をはじめ釈放の経緯や問題点を時系列で理解できる様に資料を構成した。

関係年表

1945	9. 2 日本降伏文書に調印	1948	10. 29 GHQ丸の内（準A級）裁判開始	1953	7. 22 比国戦犯全員帰還（12. 30 戦犯解消）	1955	8. 8 豪マヌス島戦犯全員帰還。在外戦犯者解消	1956	12. 1 ソ連戦犯 811名送還・釈放	1957	1. 1 英国戦犯解消	1958	5. 30 米国戦犯残り全員仮出所。東鶴戦犯所服役者皆無となる	1964	4. 7 中共最後の戦犯帰還
	10. 8 山下奉文大将の米軍マニラ裁判開始		11. 12 東京裁判判決（25名）		12. 25 ソ連細菌戦裁判開始		4. 22 仏国戦犯解消		6. 3 仏戦犯帰還（内 82名東鶴移監）		7. 4 豪州戦犯解消		8. 5 和蘭軍裁判開始（'49. 12. 14 終了）		
1946	1. 21 英軍裁判開始（'48. 12. 20 終了）		1949	2. 4 中国戦犯260名（9名釈放）東鶴移監		1950	1. 23 蘭領地区戦犯東鶴移監		1951	5. 17 香港地区戦犯東鶴移監		1952	4. 1 スガモ・ブリズン管理日本側に移管		
2. 21 仏軍裁判開始（'50. 3. 29 終了）			3. 7 GHQ回章第5号「戦争犯罪人に対する恩典付与」（仮出所制）発布		4. 28 講和条約発効		4. 28 戦犯釈放促進の法律第103号施行		4. 28 米国戦犯解消。連合国軍の全戦犯完全解消		5. 3 極東国際軍事裁判所裁判開始		8. 1 フィリピン軍裁判開始（'49. 12. 28 終了）		
4. 16 中国裁判開始（'49. 1. 26 終了）			4. 28 戦犯釈放促進の法律第103号施行		4. 28 戦犯釈放促進の法律第103号施行		4. 28 戦犯釈放促進の法律第103号施行		4. 28 戦犯釈放促進の法律第103号施行		5. 3 極東国際軍事裁判所裁判開始		8. 1 フィリピン軍裁判開始（'49. 12. 28 終了）		

BC級戦犯関係資料集

■田中宏巳編・解説

全6巻 * 摂定価 本体 130,000円
C3331 ISBN978-4-89774-312-7

■第1巻 ■戦争裁判と諸対策並びに海外における戦犯受刑者の引揚 ■

厚生省引揚援護局法務調査室編[復刻版]
定価 本体 15,000円
体裁 B5判・上製・約340頁
第1回配本・2011年10月刊 ISBN978-4-89774-313-4

■第2巻 ■陸軍関係戦犯者名簿1・2 ■

厚生省復員局調査部編[復刻版]
定価 本体 25,000円
体裁 B5判・上製・総774頁（原本1,548頁。2頁を復刻版1頁に2面付）
第1回配本・2011年10月刊 ISBN978-4-89774-314-1

■第3～6巻 ■BC級戦犯裁判・釈放関係資料集 全4巻 ■

田中宏巳編／外務省外交史料館所蔵資料[編集復刻版]
定価 本体 90,000円 [分売不可]
体裁 B5判・上製・総2,300頁（原本9,200頁。4頁を復刻版1頁に4面付）
第2回配本・2011年12月刊 ISBN978-4-89774-315-8

● おすすめしたい方
・ 日中戦争史研究者、太平洋戦争史
・ 外交史・法学研究者、国際政治史・
・ アジア史研究者、日本近現代史
・ 外務省官房図書館など

BC級戦犯
関係資料集

編集復刻版 ■全6巻

日本人は戦犯問題とどう向きあつたのか。

戦犯裁判と釈放の経緯と実態を

新発掘資料と外務省所蔵資料で実証する。

太平洋戦争における戦犯関係の基本資料であり

戦後国際政治史・外交史研究にも欠かせない

重要資料である。



関連書籍のご案内

太平洋戦争開戦前史

—開戦迄の政略戦略—

第二復員局専務処理部編／田中宏巳監修・解説 本書（原題「開戦迄の政略戦略」）は、米国議会図書館所蔵「日本の公文書及び検閲資料」の一部で、今回全文を初めて刊行する。全1巻／16,000円

オーストラリア国立戦争記念館所蔵
旧陸海軍資料目録

田中宏巳編 連合軍がニューギニア戦線で捕獲・蒐集した資料と戦後のラバウル収容所の生活に関する資料の目録と解説を収録。オーストラリアに残る旧日本軍資料の全貌を明かす新資料。全1巻／15,000円

昭和六・七年事変海軍戦史

海軍軍令部編／田中宏巳・影山好一郎解説 満洲事変・上海事変の史実を詳細に記述した「軍機」戦史。軍事史、アジア史、国際関係史、抗日運動史研究に不可欠の第一級史料。全4巻／96,000円

太平洋戦争メディア資料

北山節郎編・解説 日米開戦・終戦時の重要事項（日米開戦ニュース、ボツダム宣言受諾、ソ連参戦、原爆問題等）を膨大な一次資料群を駆使し、詳細な解説と共に時系列的・立体的に編纂した。米日報紙の基本資料。全2巻／68,000円（二刷）

太平洋戦争放送宣伝資料

北山節郎編・解説 情報局の「海外放送演説」、「対敵電波戦」を収録。政府・軍の宣伝戦の全容と文化人の戦争プロパガンダ協力の実態史料。全4巻／64,000円

同盟旬報目次総覽

同盟通信社編／北山節郎監修・解説 昭和12年から終戦迄の「同盟旬報」の記事目次を収録。戦時メディア史、昭和史研究の基礎資料。とくに日中戦争史の記録は克明である。全2巻／48,000円

陸軍成規類聚 資料集成

陸軍大臣官房編纂による日本陸軍の根幹資料
「陸軍成規類聚」資料集成 全4集 結

森松俊夫監修／林木一郎編・解説

陸軍成規類聚 昭和版

（第1集）本書は陸軍のあらゆる活動の基準となった根拠文書であり、巨大組織「日本陸軍」の「制度・組織・機構・教育等」を研究する上で不可欠な史料。底本は陸軍大臣官房図書閲覧室所蔵版で、戦後には「法制改廃委員会」が使用した「昭和一九年八月第三六版」。全7巻・別巻1／揃180,000円

陸軍成規類聚 別冊

（第2集）「成規類聚」で公開できない軍令・通達などを収録。底本は偕行社所蔵版（最終追録一九一九年一月）。全1巻／28,000円

陸軍成規類聚 明治版

（第3集）日露戦争後の陸軍軍制を知る上で必須の史料。底本は靖国偕行文庫所蔵版（明治四四年二月第六版）。全3巻／揃60,000円

「陸軍成規類聚」研究資料

（第4集）本書は「成規類聚」の概説書として①「陸軍軍制史梗概」（山崎正男）、②「山崎正男氏対談記」、③「陸軍軍制史話」（原題「軍制よもやま話」）を収録。全1巻／18,000円

緑蔭書房

〒173-0004 東京都板橋区板橋1-13-1

☎ 03(3579)5444

〔消費税が別途加算されます〕

*配本毎の分売はいたしません

2011.7

